

小さな群れ

カトリック美唄教会

2018年8月 No.255

2018年7月29日発行

後悔

ナルチゾ神父

私は長年「リーダーズ・ダイジェスト」を愛読していますが、考えさせられる話ばかりで、本当に良い雑誌だと思います。

その中で、“還暦を迎えて後悔していること”というタイトルで、六十代の男性の書いた手紙が載っていました。

その男性が、還暦を迎えてから、奥さんが死に、子供は結婚して、今は一人ぼっちになり、これまでのことを振り替えたときの思いです。

結婚後一年たって、ある朝出かける時、奥さんに「今日は私たちの結婚記念日だから、早く帰ってきてください」と云われたが、仕事が忙しくその夜帰ったのは、十二時過ぎていた。

長男が産まれそうだから、早く病院にきてほしい、そばにいてほしいと、家内に頼まれたが、忙しくて行くことができなかった。

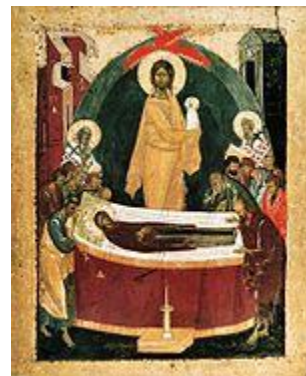
四人の子供に恵まれたが、その誕生の時に一度もそばにいてあげることができず、家内はどんなに淋しい思いをしたらろうか。また父親として、この世に生まれる自分の子供を迎えることができなくて、とても残念に思っている。子供にわびたくても、過ぎてしまったことから、無念でいっぱいです。

子供の入学・卒業の度に、お父さんもきてほしいと頼まれたが、一度も参加できなかったことも、今はつらい思い出です。

家内の具合が悪い時も、会社を休んでほしいと云われたが、仕事が大事と思い、どんなに家内を悲しませたか、今になってはじめてわかった。六十才で退職してから、朝から晩まで何もすることがなく、散歩しながら秋の葉が木から落ちるのを見ている。という内容でした。この男性の手紙を読んだ時、私はまだ六十才になっていませんでしたが、忙しいという理由で、私もたくさんの大事なことを粗末にしてきたと思いました。本音として過去に戻りたい思いですが、山から流れ出た水が戻らないように、過ぎた生涯も戻ってきません。日本人が一番多く使う言葉は「忙しい」という言葉です。文字を見ると、心を亡ぼすと書きますが、なるほど心の大事なことを失って、心の中がむなしさでいっぱいになります。

聖書に有名な話があります。イエスは二人の姉妹の家に行きました。姉の方はもてなしで忙しくて、妹の方がイエスと話をしている場面ですが、姉の不満に対して、イエスは「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み心を乱している。妹さんは良い方を選んだ、それを取り上げてはならない」と云われます。

私達も多くの事に思い悩んで、そのただ一つの大事な事を失っているのではないのでしょうか。それは心の平安と喜びです。



主日ミサの予定

先読は三間さんです。8月は教会を離れている人々のためP30

日	曜	ミサ		朗読奉仕		その他事項
		主日・祭日	時間			
5	日	年間第18主日	午前11:00	第1:吉村 第2:河野	答唱:東 共同祈願:河野	
12	日	年間第19主日	午前11:00	第1:吉田 第2:村田	答唱:三間 共同祈願:村田	慰霊祭のミサ 運営委員会
19	日	年間第20主日	午前11:00	第1:小川 第2:蓮井	答唱:大城 共同祈願:蓮井	
26	日	年間第21主日	午前11:00	第1:三間 第2:板垣	答唱:建部 共同祈願:板垣	

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前10:30 3, 10, 17, 24, 31日
 《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。
 《 ロザリオの祈り 》 15日(水) 午後6:00より 聖堂

霊名の祝日			清掃当番
11日	クララ	米通 心、船野由美	【第2週】河野 【第4週】米通里奈 洲之内京子
15日	被昇天マリア	加賀綾子、建部絢子	
23日	マリアローザ	山本育子、佐藤礼子	
21日	聖ピオ10世	菅野牧雄	
27日	モニカ	坂本礼子、米通里奈、富田楨子、三間	
28日	アウグスチーノ	菅野仁	

◎7月20日アカシア幼稚園の夕涼み会に沢山のお手伝いありがとうございました。
2万円の収益になり、全額幼稚園に寄付致しました。

◎8月5日ミサ終了後菅野君子様の納骨を致します。

◎8月12日慰霊祭のミサ後建部信吾様の納骨を致します。

◎8月15日(水)聖母の被昇天の大祝日にあたり、11時からミサが行われます。

◎カトリック札幌司教区からのお知らせ

「西日本豪雨災害」緊急救援募金のお願いがありました。

当教会では8/5、8/12、8/19の主日の献金を救援募金にしたいと思います。

◎アカシア幼稚園は8月17日夏休みです。

8月21日(火)誕生会、9月2日(日)第63回大運動会になってます。